



わたしの グリーンインフラ



問 都市整備課 ☎0538-37-4806 FAX0538-37-8690
 問 道路河川課 ☎0538-37-4808 FAX0538-32-3948
 問 農林水産課 ☎0538-37-4913 FAX0538-37-1184

グリーンインフラとは？

自然には、雨水による地域の浸水を軽減したり、暑さを和らげたりするなど、私たちの暮らしを支えるさまざまな機能があります。こうした自然が持つ機能を、インフラの整備や土地利用に積極的に取り入れる考え方や方法を、グリーンインフラストラクチャー（Green Infrastructure; 略して「グリーンインフラ」）といいます。

グリーンインフラを活用することで、地域の課題解決や防災、環境保全、快適な地域づくりにつながります。

みどりと笑顔がずっとつづくまちへ (市の目指すところ)

市では緑についての意識高揚を図る啓発活動やまちなかの緑化を進めています。

また、水辺・農地・山林などの活用や維持管理を継続して実施していきます。

このように、自然と共生した安心・安全な地域づくりに取り組み、「みどりと笑顔がずっとつづくまち」を目指します。



アンケートにご協力ください！

近所の公園や並木道、家の近くにある緑をどのように感じていますか。10年後、20年後、このまちが「もっと心地よい場所」であるために、皆さんが大切にしたい「緑」の姿をぜひお聞かせください。

市では、グリーンインフラの考え方を取り入れた「磐田市緑の基本計画」の改訂を進めています。皆さんからいただいたご意見は、今後の公園整備や緑化推進に生かしていきます。



▲アンケート
フォーム

いわたのグリーンインフラの取り組み ～身近な緑を探してみよう～

さくら百年プロジェクト

市内全域に桜を植樹し、地域や事業者と共創しながら、緑豊かな都市環境と景観を育む取り組みです。第1弾として敷地川堤防で「桜つつみ合同植樹祭」を開催し、豪雨で被災した堤沿いに桜（ジンダイアケボノ）26本を植樹しました。



街路樹の再整備事業

老木化した街路樹の更新と安全性の向上のため、市内 JR3 駅の周辺を再整備し、各エリアに計 50 本のヤマボウシを植樹しました。豊かな緑は夏の日差しを和らげ、ヒートアイランド現象の緩和や心地よい木陰づくりにつながります。



海岸防災林の整備

防災意識の向上と景観づくりを目指し、地域と協力して植樹活動を行っています。災害からいのちを守る「森の防潮堤」づくりに取り組む（財）鎮守の森のプロジェクトと連携し、植樹祭を開催しました。その土地本来の広葉樹などを植えています。



雨庭モデルケースの整備

「雨庭」は、屋根や舗装面の雨水を一時的にため、地中へ浸透させる植栽空間です。庭を掘り下げ、砂利や砕石（さいせき）を用いることで、雨水の流出を抑え、水害軽減につなげます。市では「流域治水」の一環として、見付地区でモデル事業を実施しました。



花いっぱいコンクールの実施

公園や公会堂などの公共施設や街路沿いの公有地に、地域住民が植栽し、手入れを行っている花壇などを対象に花のコンクールを開催しています。美しい花と緑のある地域の取り組みを紹介し、自然にやさしいまちづくりを推進しています。



市では、市民・事業者・行政が協力しながら、緑豊かで持続可能なまちづくりを進め、次世代へ自然と安心して暮らせる環境を引き継いでいきます。

